

<第八回 直前集中練習について> (2024.03.17インタビュー)

今回は、第八回ということで、5月に行われる「発表会」に向けて、4月から行われる「直前集中練習について」というテーマで話を聞いてみました。

いよいよ発表会（5月26日（日））まで2か月少しとなりました。いままではレギュラー通り、毎月第二、第四土曜日に講師によるマジック講習を受けていましたが、4月からは、講習を取りやめ、すべて発表会に向けた演技練習日とし、さらに平日にも練習日を追加で設けて、よりよい発表会にするための集中練習を始めます。

—聞き手：こんばんは。本日は、発表会前の恒例「直前集中練習」を効果的なものにするためのコメントなどをいただけたらと思います。

—名誉会長：はい、こんばんは。発表会は5月下旬ですので、もう2か月前ですね。大きく分けると4月にやること、5月にやることにわけることができますよ。そして、5月はもう演技の変更はしない。確定した演技の流れを、確定した音楽で、また確定した衣装で繰り返し練習し、講師の先生にもアドバイスを受けながら、細かい動きや視線など、本当にマイナーチェンジしていくことに集中すべき期間なんだよね。その意味では、3月中に演技内容と曲を決め、4月はこれを磨き上げる期間と思って欲しい。はじめは、コマギレでもいいので、演技を講師や会員に見てもらい、どうしたらもっと良くなるかを考えて行く。そして、4月の終わりには、演技を確定して5月を迎えるというタイムスケジュールで過ごして欲しい、ということなんです。だから、4月は本番を想定した練習をやるということです。それで、その間に音楽（BGM）の選択、作り上げなども合わせて進めるということなんです。

—聞き手：わかりました。4月中に本番で行う演技、BGMを確定させ、5月になったら、もうそれだけを行う、という感じですね。そうすると、4月末までのこの1か月半（インタビューは2024年3月17日実施）が勝負ということですね。

—名誉会長：そうそう。音楽だけでなく、照明とか、衣装とか、いままで話したことも生かされるといいですね。

—聞き手：この期間は、講師の先生から演技指導を受けることにはなりますが、何かポイントなどはありますか？

一名誉会長：うーん。講師の先生は、舞台経験も豊富のため、「こうした方がいいんじゃないか」「ちょっとそれ違うんじゃないか」「意味が伝わらない」とかのアドバイスをくれると思うので、しっかり見てもらうといいね。

一聞き手：そうですね。ただ、私の感想としては、講師はあくまでも講師であり、メンバーではないので、言いにくい部分もあるのかなと思います。演技のポイントをいろいろ教えていただけますが、演技内容を大幅に変更するような指導など、いわゆるダメ出しというのは、難しいのかなと思いました。ちなみに、石山さんが指揮を執っていた時は、かなり厳しくダメ出しを行っていたという話を聞きました。

一名誉会長：それはそうなんだな。やはりまあ、講師という立場もあるので、気付いた点やよりよくするアドバイスはたくさんいただけるけど、厳しいダメ出しは、やはりメンバー内でやった方がいいね。その時、講師に相談するのもいい。まあ、メンバー同志で忌憚ない意見をぶつけていかないといけな。

一聞き手：そうですね。講師のアドバイスとメンバー間のアドバイスをうまく出し合って、演技のレベルアップを目指します。

一名誉会長：はい、でもそういったことは必要ですよ。ところで、練習日はすでに確定しているのかな。

一聞き手：はい、練習会場の都合もありますが、平日も含め練習日を増やしたスケジュールが出来ています。

一名誉会長：そうですね。また、必要であれば、増やすことも考えて。繰り返しになりますが、のんびり構えずに、意識を高めて、4月中に演技を確定し、5月はその演技を繰り返し練習。会員間でお互いに演技を見せ合って、よりよくすることに頑張って、発表会を迎えて欲しいですね。

※次回のインタビューテーマは未定です。